◆ 当商品をご使用になる前に必ず本取扱説明書を よくお読みください。

KAWAI

DIGITAL PIANO

CA5E

取扱説明書

●同梱品
- □ 本体
- □ スタンド一式
- □ 椅子
- □ 電源コード
- □ 取扱説明書（本書）
- □ ヘッドホン
- □ ヘッドホンフック
- □ スタンド組立図
- □ 保証書
- □ ご愛用者カード
- □ アフターサービスと音楽教室のご案内

（全て各1部）

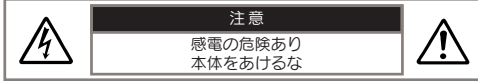
《ごあいさつ》

このたびは、KAWAI 電子ピアノをお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。本機は、木製鍵盤を搭載しており、グランドピアノのタッチをリアルに再現しており、ピアノの音色はもちろんオルガンなど全40種類の音色で演奏を楽しむことができます。また、自分の演奏を録音する機能，音に残響効果を与えるリバーブ，伝統的ないくつかの調律法による音律セッティングなど多種多彩な機能を装備しています。さらに、電子楽器統一規格であるMIDI機能も装備していますので、他のMIDIを装備した電子楽器と接続してアンサンブル等、バラエティーに富んだ演奏にも対応できるようになっています。本機の性能をフルに発揮させていただくとともに、いつまでも末永くご愛用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読み下さるようお願い致します。

目次

◆ 安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使い下さい。
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守って下さい。表示と意味は次のようになっています。製品本体に表示されているマークには次のような意味があります。

注意
感電の危険あり
本体をあけるな

注意：火災や感電防止のため、本体を雨や湿気の多いところに、さらさないで下さい。

このマークは、感電の危険があることを警告しています。

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書等に、一般的な注意、警告の説明が記載されていることを表しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容が記載されています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容が記載されています。

絵表示の例

△記号は注意（用心してほしい）を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「指を挟まないよう注意」が描かれています。

○記号は禁止（行ってはいけない）の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

●記号は強制（必ず実行してほしい）したり、指示する内容があることを告げるものです。左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜く」が描かれています。

⚠ 警告

◆電源は、必ずAC100Vを使う

●電圧の異なる電源を使用しないで下さい。
●発火の恐れがあります。

◆水に濡れた手で、電源プラグを抜き差ししない

●感電の原因になります。

◆水がかかる場所で使用したり、水に濡らす（つける,かける,こぼす）などしない

●漏電によって、感電や発火の原因になります。

◆本機を落とさない

●運搬の際は、必ず２人以上で運んで下さい。

◆イスは次のように使用しない

●イスで遊んだり、踏み台にしない
●イスには2人以上で座らない
●イスの高さ調節は、イスから降りて行う（調節機能付きの場合）
●イス組立時、ネジをしっかり締める

使用しない

●イスが倒れたり、指をはさむ恐れがあり、けがの原因になります。
●不安定な場所に置かないでください。
●長時間使用してイスのボルトがゆるんだ場合は、付属のスパナで締め直してください。

◆ヘッドホンは、大音量で長時間使用しない

長時間使用禁止

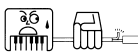
●聴力低下の原因になる恐れがあります。

◆本機を分解、修理、改造しない

分解禁止

●故障、感電、ショートの原因になります。

◆電源プラグを抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜く

プラグ部分を持つ

●コードを引っ張るとコードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆長時間使用しない時は必ず電源プラグを抜く

●落雷時に火災の原因になります。

⚠注意

◆本機を次のような所では使用しない
●窓際など直射日光の当たる場所
●暖房器具のそばなど極端に温度の高い場所
●戸外など極端に温度の低い場所
●極端に湿度の高い場所
●砂やホコリの多い場所
●振動の多い場所

使用禁止

●故障の原因になります。

◆鍵盤蓋は、ゆっくりしめる

ゆっくりしめる

●いきおいよくしめると、指をはさみ、けがの原因になります。

◆コード類を接続するときは、各機器の電源を切って行う

電源を切る

●本機や接続機器の故障の原因になります。

◆本機の内部に異物を入れないようにする

異物を入れない

●水、針、ヘアピン等が入ると、故障やショートの原因になります。

◆本機の鍵盤にもたれない

もたれない

●本体が倒れる恐れがあり、けがの原因になります。

◆テレビやラジオ等の電気機器の側に置かない

他電気機器から離す

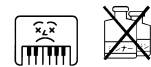
●本機が雑音を発する恐れがあります。
●本機が雑音を発したら、他の電気機器から十分に離すか、他のコンセントをご利用下さい。

◆電源コード、接続コード類はからまないように接続する

からまないようにする

●コードが破損し、火災、感電、ショートの原因になります。

◆ベンジンやシンナーで本機を拭かない

ベンジン／シンナー禁止

●色落ちや、変形の原因になります。
●清掃するときは、柔らかい布をぬるま湯につけて、よく絞ってから拭いて下さい。

◆本機の上に乗ったり、圧力を加えない

上に乗らない

●変形したり、倒れる恐れがあり、故障や、けがの原因になります。

●ヘッドホン使用時、または音量下げて演奏の際は、構造上打鍵音（メカニズム音）が若干聞こえますが異常ではありません。ご了承ください。

●パネル上のディスプレイには、あらかじめ保護用の透明シートが貼り付けてあります。

■保証書について

●本製品をお買い求めの際、販売店で必ず保証書の手続きを行って下さい。保証書に販売店の印やお買い上げ日の記入が無い場合は、保証期間中でも修理が有償になることがあります。

●保証書は、本取扱説明書と共に大切に保管下さい。

■修理について

●万一異常がありましたら直ちに電源スイッチを切り、本機の電源プラグを抜いて、購入店または弊社へご連絡下さい。

※ 本取扱説明書に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

1.各部の名称と働き

電子ピアノに付いている、レバーやボタンなどの位置とその機能を説明します。

◆パネル図

● DEMO（デモ）［P.16］
内蔵されているデモ曲を演奏させるときに使用します。

● 音色ボタン［P.7］
音色を選択するボタンです。
演奏したい曲想などに合わせてボタンを押してください。
押されたボタンの赤いランプが点灯します。

● CONCERT MAGIC（コンサートマジック）［P.17］
内蔵曲を鍵盤を弾くタイミングと強さに応じて再生することができます。

● VALUE［Up/Down］（バリュー［アップ/ダウン］）
値を設定するときに使います。

● MASTER VOLUME（ボリューム）
内蔵スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。
max側は音量が大きくなり、min側は音量が小さくなります。

● LED
3文字でテンポなどの値を表示します。

MASTER VOLUME
min max
CONCERT MAGIC
DEMO
PIANO 1 PIANO 2 ELECTRIC PIANO DRAWBAR CHURCH ORGAN HARPSI& MALLETS STRINGS VOCAL PAD BASS
song 1 — 2 — 3 — 4 — 5 part 1 — 2

◆ペダル

●ダンパーペダル
このペダルを踏んで演奏すると鍵盤から手を離した後の音に余韻を与えます。

●ソステヌートペダル
鍵盤を押した後、指を離す前にこのペダルを踏むと、そのとき押さえていた鍵盤の音のみに余韻を与えます。
従って、このペダルを踏んだ後に押した別の鍵盤の音は、通常通り発音します。

●ソフトペダル
音色がやわらかくなり音量も小さくなります。
音量がわずかに下がると同時に音の響きがやわらかくなります。

● RECORDER [PLAY/STOP.REC]（レコーダー [プレイ/ストップ.レック]）[P.25]
PLAY/STOP,RECの2つのボタンを使って、あなたの演奏を録音、再生することができます。

● METRONOME［TEMPO/BEAT]）［P.23]（メトロノーム [テンポ/ビート]）
メトロノーム音を鳴らし、テンポ/拍子/音量を設定します。

● FUNCTION（ファンクション）［P.30]
TOUCH/TRANSPOSEボタンを同時押しで、設定モードに入ります。

● TOUCH（タッチ）［P.13]
タッチの感度を切り換えるボタンです。消灯でノーマルタッチです。

● TRANSPOSE（トランスポーズ）［P.15]
トランスポーズ機能を使えば、弾き方を変えずに簡単に移調できます。調の異なる楽器とのアンサンブルや、歌の伴奏をする時などに便利です。

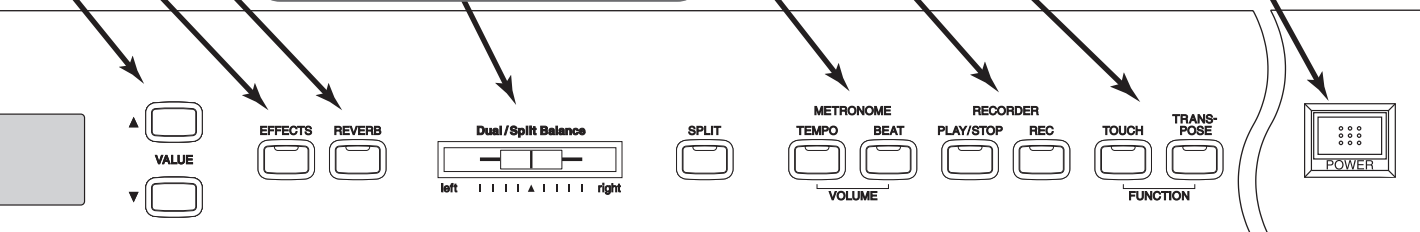
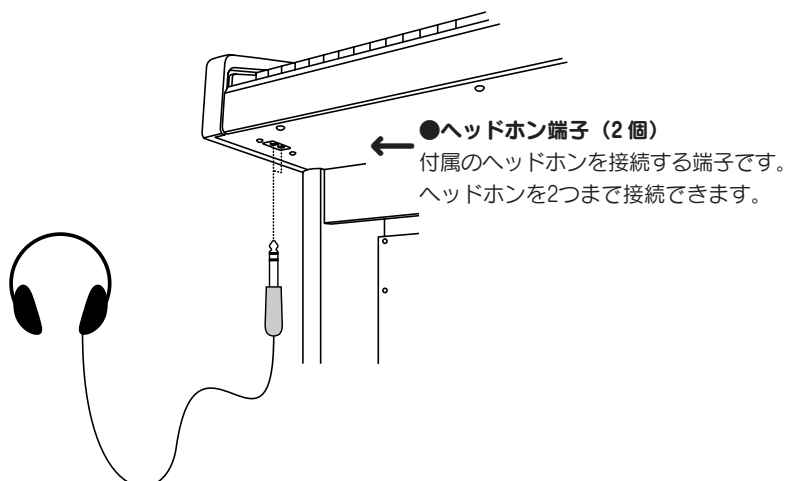
● EFFECTS（エフェクト）［P.12]
コーラス効果、ディレイ効果、トレモロ効果、ロータリー効果の選択をします。

● REVERB（リバーブ）［P.11]
音にリバーブ効果（残響効果）を与えることで、美しい響きが得られます。3Dリバーブを選択すればより広がりのある残響が得られます。

● DUAL SPLIT BALANCE（デュアル/スプリットバランス）［P.8]
デュアル演奏する場合の2つの音色の音量バランスを設定します。

● POWER（電源スイッチ）
電源をON/OFFするスイッチです。ご使用後は必ず電源スイッチを切ってください。

◆ヘッドホン

●ヘッドホン端子（2個）
付属のヘッドホンを接続する端子です。
ヘッドホンを2つまで接続できます。

2.演奏してみましょう

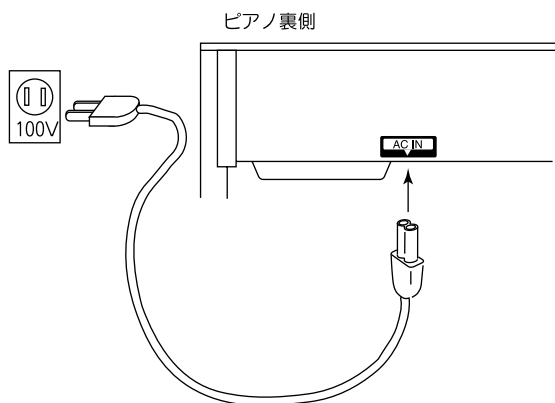
ここでは、電源を入れ音を出すまでの基本的な手順を説明します。

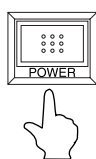
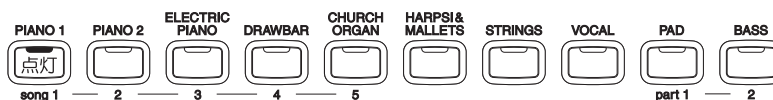
1）基本操作

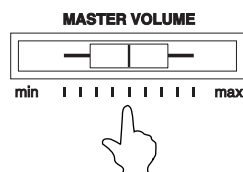
◆セッティング

◇操作 1

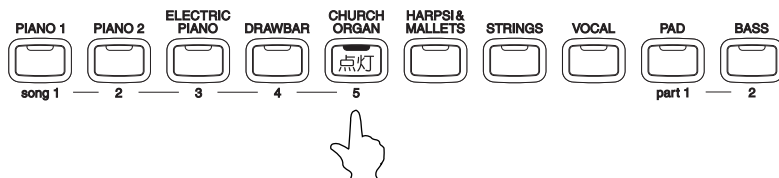
**電源プラグを AC100V の
コンセントに差し込みます。**

ピアノ本体裏側の AC IN と表示されている部分の下面に差し込み口がありますので、あらかじめ接続しておいて下さい。

◇操作 2

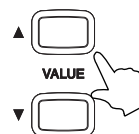
**POWER（電源スイッチ）ボタンを押して電源を
ON にします。**

POWER ボタンを押すと音色セレクトボタン の PIANO1 と表示されているボタンが点灯します。

◇操作 3

VOLUME レバーを中央付近にセットします。

◆音色の選択

◇操作 1

音色ボタンの中から好きな音色を選んで押します。

押された音色のランプが点灯し選択されます。
ディスプレイにそのボタンの中の現在選ばれている音色の番号が表示されます。
チャーチオルガンの音で演奏したい場合は、上図のように CHURCH ORGAN ボタンを押して点灯させせます。
1つの音色ボタンに複数の音色が割り当てられており、選択されているボタンを再度押すと同じ音色ボタンに割り当てられている他の音色が選択されます。

▲ VALUE ▼

■ *VALUE ボタンで音色を切り替えることもできます。*

◇ 内蔵音色

PIANO1（ピアノ1）
- コンサートグランド
- スタジオグランド
- メローグランド
- ジャズグランド

PIANO2（ピアノ2）
- ブライトピアノ
- ホンキートンク
- ニューエイジピアノ
- ニューエイジピアノ2

ELECTRIC PIANO（エレクトリックピアノ）
- エレクトリックピアノ1
- エレクトリックピアノ2
- 60's エレクトリックピアノ
- エレクトリックピアノ3

DRAWBAR（ドローバー）
- ジャズオルガン1
- ジャズオルガン2
- ジャズオルガン3
- ジャズオルガン4

CHURCH ORGAN（チャーチオルガン）
- チャーチオルガン1
- チャーチオルガン2
- チャーチオルガン3
- チャーチオルガン4

HARPSI & MALLETS（ハープシ＆マレッツ）
- ハープシコード
- ハープシコード2
- ビブラフォン
- クラビ

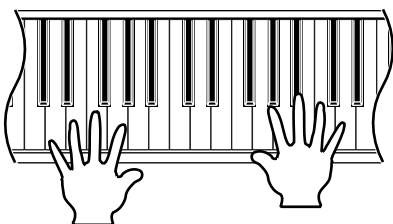
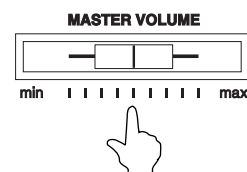
STRINGS（ストリングス）
- スローストリングス
- シンセストリングス
- ウォームストリング
- ストリングアンサンブル

VOCAL（ボーカル）
- クワイア
- ポップオー
- ポップアー
- シンセボーカル

PAD（パッド）
- ファンタジー1
- ファンタジー2
- ファンタジッククワイア
- ファンタジー3

BASS（ベース）
- ウッドベース
- エレクトリックベース
- フレットレスベース
- ウッドベース＆ライド

◇操作 2

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば "操作1" で選んだ音で演奏することができます。
音量を調節したい時は、VOLUME レバー でお好みの音量に設定してください。

■ *複数の鍵盤を同時に押した時の発音数（同時発音数）は、最大 96 音です。*

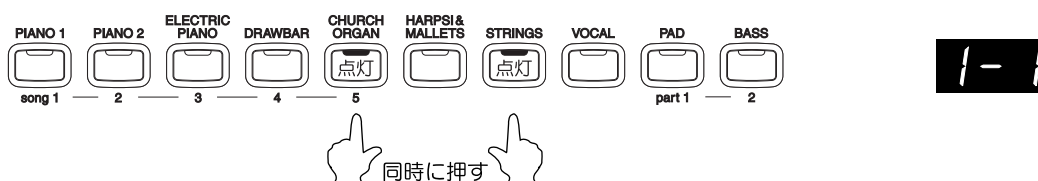
2）デュアル演奏

デュアル演奏は 2 つの音色を重ね合わせます。
2 つの音色を同時に発音され音楽表現の幅が広がります。

◇操作 1

2つの音色ボタンを同時に押します。

重ね合わせる 2 つの音色ボタンを両方押すと 2 つの音色ランプが点灯します。

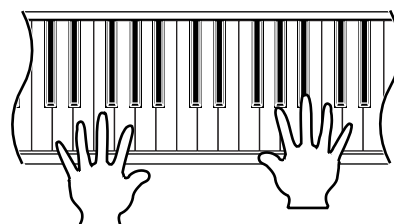
チャーチオルガンとストリングスの音を重ね合わせる場合は、下図の様な操作になります。

ディスプレイに 2 つのボタンの中で現在選ばれている音色の番号が表示されます。
左側のボタンの番号がディスプレイの左に、右側のボタンの番号がディスプレイの右に表示されます。

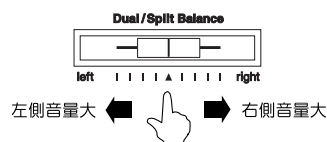
ストリングアンサンブルをスローストリングスに変更する場合は、CHURCH ORGAN ボタンを押しながら STRINGS ボタンを再度押します。

同じボタンの中の 2 色音を重ね合せて発音させることもできます。
例えば、PIANO1 ボタンに割り当てられている「コンサートグランド」と「メローグランド」の音色を重ね合わせる場合は、PIANO1 ボタンで「コンサートグランド」を選択した後、そのまま PIANO1 ボタンを押しながら VALUE ボタンで「メローグランド」を選びます。

◇操作 2

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば選択した 2 つの音色が重なって発音されます。

◇操作 3

Dual/Split Balance レバー で 2 つの音色のバランスを設定します。

左側に動かすと､パネル音色ボタンの左側音色の音量が大きくなります。
右側に動かすと､パネル音色ボタンの右側音色の音量が大きくなります。

◇操作 4

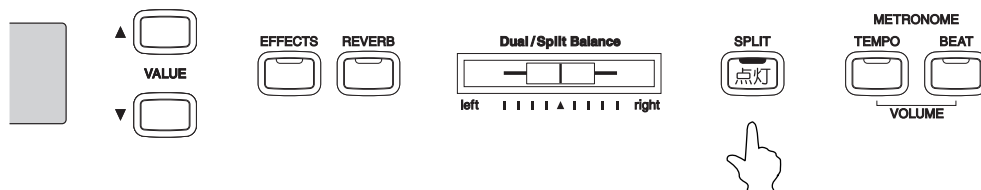
デュアル演奏の解除は、音色セレクトボタンをどれか 1 つ押します。

新たに音色が選択されると同時にデュアル演奏の設定が解除されます。

3）スプリット演奏

スプリットポイントを境に鍵盤を左右2つに分け、鍵盤の高音側、低音側それぞれに別々の音色を設定しアンサンブル演奏をすることができます。

◇操作 1

SPLIT ボタンを押します。

SPLIT ボタンのランプが点灯します。
音色ボタンの中で点灯しているボタンと点滅しているボタンがあります。

点灯している音色ボタンは、SPLIT ボタンを押す前に選ばれている音色で、高音側の音色です。
点滅している音色ボタンは、低音側の音色で初期設定されているベース音色です。

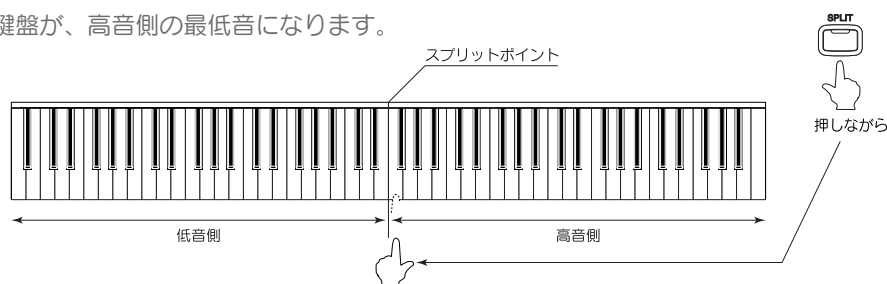
ディスプレイに2つのボタンの中で現在選ばれている音色の番号が表示されます。
高音側が右に、低音側が左に表示されます。

2 - 1

スプリットポイントは、中央のC（ド）に設定されています。

◇操作 2

スプリットポイントを変更したい場合は、SPLIT ボタンを押しながら鍵盤を押します。

押した鍵盤が、高音側の最低音になります。

◇操作 3

鍵盤を弾いてみましょう。

鍵盤を弾けば、スプリットポイントを境に別々の音色で鳴ります。
右手でコードとメロディー、左手でベースラインを弾いてアンサンブル演奏を楽しむことができます。

◇操作 4

高音側の音色は、音色ボタンを押して変更します。

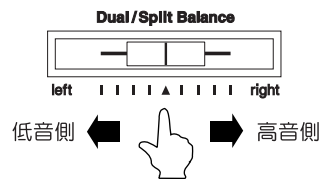
押した音色ボタンのランプが点灯します。
同じ音色ボタンをつづけて2回以上押すと、その音色グループ内での音色変更ができます。

◇操作 5

低音側の音色は、SPLIT ボタンを押しながら音色ボタンを押して変更します。

押した音色ボタンのランプが点滅します。
同じ音色ボタンをつづけて 2 回以上押すと、その音色グループ内での音色変更ができます。

◇操作 6

Dual/Split Balance スライダーを動かして、高音側と低音側の音量バランスを設定します。

◇操作 7

スプリット演奏を解除する時は、再度 SPLIT ボタンを押します。

SPLIT ボタンのランプが消灯します。

■ *低音側鍵盤の音に、オクターブシフトを設定することができます。(P.44 参照)*
■ *低音側鍵盤の音に、ダンパーペダルのオン / オフの設定ができます。(P.45 参照)*

4) リバーブ / エフェクト

◆音に REVERB（リバーブ）効果を加える

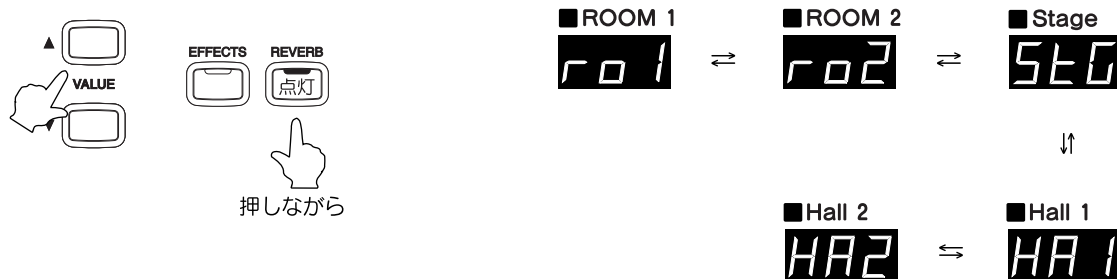
◇ リバーブとは？

リバーブ効果を加えると、音に残響効果が加わり深みのある美しい響きが得られます。
本機では、以下の 5 種類のリバーブを用意しています。

◇ ROOM1、2　　室内で演奏している時の残響効果が得られます。
◇ STAGE　　ステージで演奏している時の残響効果が得られます。
◇ HALL1、2　　ホールで演奏している時の残響効果が得られます。

◇操作 1

REVERB ボタンを押しながら VALUE ボタンでリバーブの種類を選びます。

REVERB ボタンのランプが点灯します。

REVERB ボタンを押している間、LED に今選ばれている
リバーブの種類が表示されます。

REVERB ボタンを押して消灯させると、音色のリバーブ効果は解除されます。
再度 REVERB ボタンを押して点灯させると、前回選択していた種類のリバーブ効果が加えられます。

設定されたリバーブの種類、オン / オフは電源が入っているあいだ各音色毎に記憶されています。
再び電源をオンにした時は、各音色の初期設定に戻ります。

◆音に CHORUS（コーラス）／DELAY（ディレイ）1,2,3 ／TREMOLO（トレモロ）／ROTARY（ロータリー）1,2 効果を加える

◇ コーラス　元々の音にもう一つのピッチのずれた音を合わせることにより、音に広がりを加わえます。

◇ ディレイ　元の音に山びこ（エコー）のような反響音を加える効果です。
本機では 3 種類のディレイ効果を用意しています。

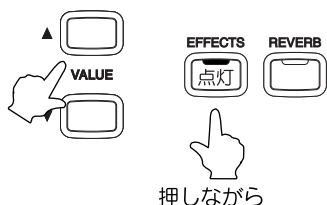
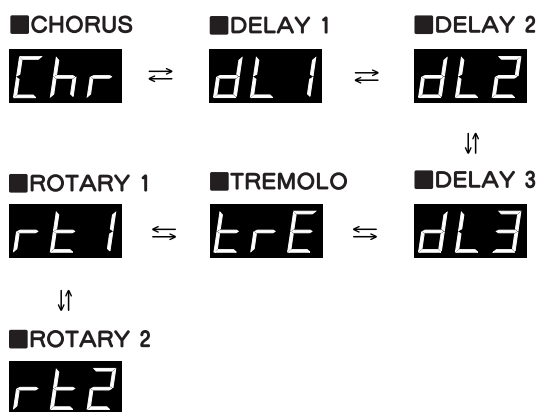
◇ トレモロ　音に " ゆらぎ " を与える効果です。ビブラフォンの音にかけると効果的です。

◇ ロータリー　回転式スピーカーを使って得られる効果です。
ソフトペダル（P.4）を押すことによって回転の早さを切り換えることができます。

演奏してみましょう

◇操作 1

EFFECTS ボタンを押しながら VALUE ボタンで効果の種類を選びます。

パネル上の EFFECTS ボタンのランプが点灯します。

EFFECTS ボタンを押している間、LED に今選ばれている効果の種類が表示されます。

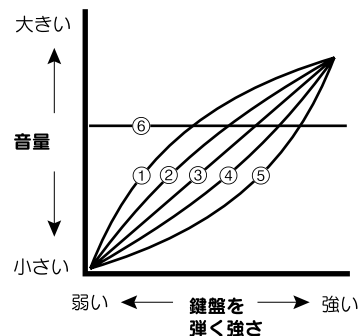
EFFECTS ボタンを押して消灯させると、音色の効果は解除されます。
再度 EFFECTS ボタンを押して点灯させると、前回選択していた種類の効果が加えられます。

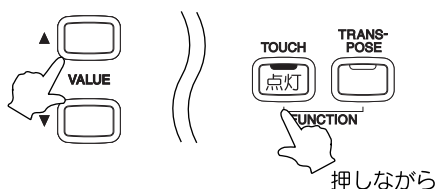
ロータリーを選ぶとソフトペダルでスピードを切り替えることができます。（P.4 参照）

設定された効果の種類、オン / オフは電源が入っているあいだ各音色毎に記憶されています。
再び電源をオンにした時は、各音色の初期設定に戻ります。

5）タッチカーブ

ピアノでは、鍵盤を弾く力をだんだん強くしていくと、音量もだんだん大きくなっていきます。
この鍵盤を弾く強さと音量との関係を表したものをタッチカーブと呼びます。
本機では、7種類のタッチカーブを装備しています。

①LIGHT2 ②LIGHT1 （ライト）	：	弱いタッチで弾いても大きな音がでます。 小さなお子様や、オルガンプレーヤー向きのタッチカーブです。
③NORMAL （ノーマル）	：	アコースティックピアノと同程度のタッチで音量が変化します。 ※ TOUCHボタンがオフ（消灯）の時のタッチカーブです
④HEAVY1 ⑤HEAVY2 （ヘビー）	：	強いタッチで弾かないと大きな音が出ません。 指の力の強い人や練習向きのタッチカーブです。
⑥OFF （オフ）	：	タッチの強弱に関わらず一定の音量で発音します。
⑦USER （ユーザー）	：	ユーザーが入力したタッチによりタッチカーブが作成されます。 （P.14参照）

◇操作

TOUCH ボタンを押しながら VALUE ボタンを押して タッチの種類を選びます。

TOUCH ボタンのランプが点灯し、ボタンを押している間 LED に現在選ばれているタッチカーブが表示されます。
VALUE UP/DOWN ボタンを押して6種類の中からタッチカーブを選択します。

ここで選択したタッチカーブは、TOUCH ボタンのランプが点灯時に有効になります。
TOUCH ボタンのランプが消灯時は、NORMAL（ノーマル）に設定されます。

◇ ユーザータッチカーブ作成機能の使い方

ユーザータッチカーブ作成機能とは、ユーザーの鍵盤を弾く指の力に合わせて、自動的にタッチカーブを作成する機能です。

◇操作 1

TOUCH ボタンを押しながら VALUE ボタンを押してユーザーカーブを選びます。

◇操作 2

TOUCH ボタンを押したまま REC ボタンを押します。

◇操作 3

鍵盤を弾きます。

適当な鍵盤を使って弱打から強打まで弾いて下さい。
ディスプレイは REC ボタンを押して数秒たつと次の表示に変わります。

演奏が終わったら操作 4 に進んで下さい。

◇操作 4

PLAY/STOP ボタンを押します。

上記メッセージが画面に表示されたら完了です。
鍵盤を弾いた指の力に合わせて、タッチカーブが作成され本体に記憶されました。

6）トランスポーズ

調の異なる楽器とのアンサンブル演奏や歌の伴奏をするときに、弾き方を変えずに簡単に移調できます。

◇操作

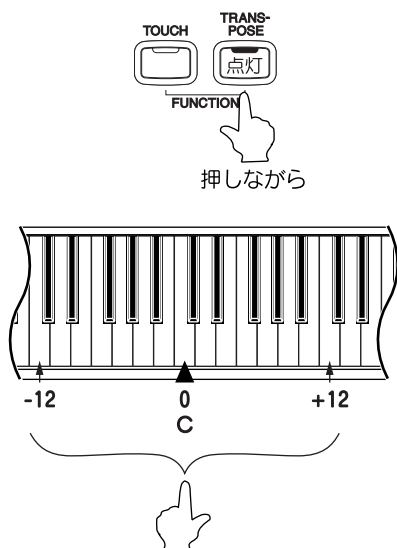
TRANSPOSE ボタンを押しながら VALUE ボタンで移調させます。

TRANSPOSE ボタンのランプが点灯し、ボタンを押している間、現在セットされているトランスポーズの値が LED に表示されます。

電源 ON 時は「0」に設定され TRANSPOSE ボタンのランプは消灯しています。

VALUE ▲ ボタンを押す度に半音ずつ調が上がり、VALUE ▼ ボタンで半音ずつ調が下がります。

-12 ～ 12 の間で設定できます。

TRANSPOSE ボタンを押しながら鍵盤を押しても移調できます。

鍵盤中央のド（C）が 0 です。
ディスプレイに値が表示されます。

■ *TRANSPOSE ボタンのランプは、ハ長調（C）以外のキーにセットされている時に点灯します。*

例えば、ここで「-3」にセットしておき、 TRANSPOSE ボタンのランプを点灯させれば、半音 3 つ分音が下がり TRANSPOSE ボタンのランプを消灯させれば、ワンタッチでハ長調（C）のキーに戻ります。

■ *電源オン時は、「0」に設定されます。*

7）デモ曲の演奏

各音色に合ったデモ曲を合計 26 曲内蔵しています。
（下参照）
それぞれの音色にあったデモ演奏をお楽しみください。

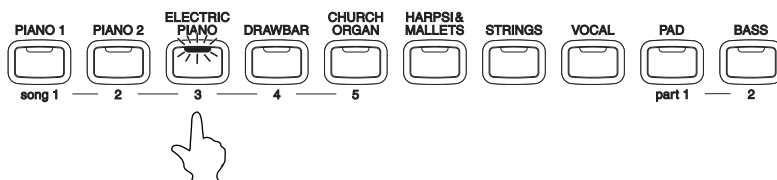
- PIANO1 ：子犬のワルツ/ショパン
  ：オリジナル
  ：亜麻色の髪の乙女/ドビュッシー
- PIANO2 ：オリジナル（2曲）
- E. PIANO ：オリジナル（3曲）
- DRAWBARS ：オリジナル（3曲）
- CHURCH ORGAN ：トッカータ/ジグー
  ：主よ人の望みの喜びよ/バッハ
  ：オリジナル
- HARPS & MALLETS ：フランス組曲 第6番/バッハ
  ：オリジナル（2曲）
- STRINGS ：オリジナル（2曲）
  ：四季"春"/ヴィヴァルディ
- VOCAL ：オリジナル
- PAD ：オリジナル（2曲）
- BASS ：オリジナル（3曲）

◇ ***操作 1***

DEMO ボタンを押します。

DEMO ボタンのランプが点灯し、音色ボタンが点滅します。
そのまま何も操作しなければ、ピアノ 1 の音色デモ曲が演奏されます。
ピアノ 1 のデモ曲演奏後は、各音色のデモ曲が順不同で演奏されます。

◇ ***操作 2***

操作 1 でデモ曲演奏中に、音色ボタンを押して、曲を変更することができます。

■ *ピアノ 1のデモ曲は、3曲内蔵しており、順に再生されますが、 PIANO1 ボタンを繰り返し押すことにより、次のピアノ曲を選曲することができます。*

■ *押された音色ボタンのデモ曲を再生した後、各音色のデモ曲が順不同で演奏されます。
再度 DEMO ボタンか PLAY/STOP ボタンを押すまで演奏を続けます。*

◇ ***操作 3***

再度 DEMO ボタンか PLAY/STOP ボタンを押すと演奏が止まります。

8）コンサートマジック

コンサートマジックでは、鍵盤を押す度に曲の演奏を進めていくことができます。
誰にでも、（高度な曲が弾けない人にも）鍵盤を使って演奏を楽しむことができます。
本機には、コンサートマジック用に 88 曲の演奏曲を内蔵しています。

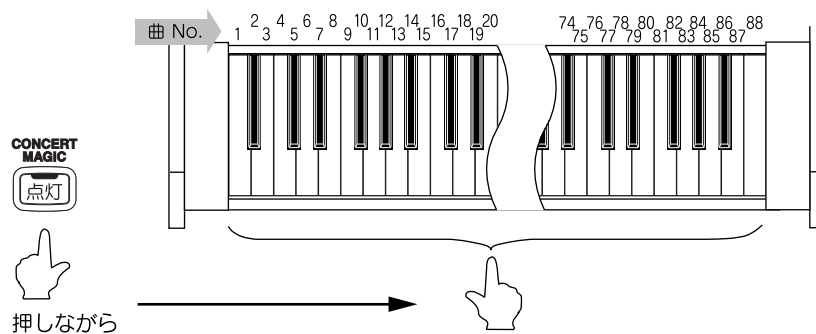
■ *EB：イージービート , MP：メロディープレイ , SK：スキルフルは、コンサートマジックの難易度を表わします。*
（P.20 参照）

● 子供の歌（CHILDREN’S SONGS）				
1	"Twinkle, Twinkle, Little Star"	きらきら星	MP	A0
2	I’m A Little Teapot	私はちっちゃなティーポット	MP	A#0
3	This Old Man	このおじいちゃん	MP	B0
4	Mary Had A Little Lamb	メリーさんの羊	MP	C1
5	London Bridges	ロンドン橋	MP	C#1
6	"Row, Row, Row Your Boat "	こげこげボート	MP	D1
7	Hickory Dickory Dock	ヒコリ・ディコリ・ドック	EB	D#1
8	Pop Goes The Weasel	いいやつみつけた	MP	E1
9	Good Morning To You	おはよう	MP	F1
10	Frere Jacques	鐘の音	MP	F#1
11	The Farmer In The Dell	小さな谷間の農夫さん	MP	G1
12	Bingo	ビンゴ	EB	G#1
13	"Itsy, Bitsy Spider "	イッツ・ビッツィ・スパイダー	MP	A1
● クリスマスの曲（CHRISTMAS SONGS）				
14	Hark The Herald Angels Sing	あめにはさかえ	MP	A#1
15	Jingle Bells	ジングルベル	MP	B1
16	Deck The Halls	ひいらぎかざろう	MP	C2
17	O Come All Ye Faithful	神のみ子はこよいしも	MP	C#2
18	Joy To The World	もろ人こぞりて	MP	D2
19	The First Noel	牧人ひつじを	MP	D#2
20	Silent Night	きよしこの夜	MP	E2
21	We Wish You A Merry Christmas	おめでとうクリスマス	MP	F2
22	What Child Is This? (Greensleeves)	グリーンスリーブス	MP	F#2
● アメリカン音楽（PATRIOTIC SONGS）				
23	My Country’Tis Of Thee	マイ・カントリー・ティス・オブ・シー	MP	G2
24	Battle Hymn Of The Republic	リパブリック賛歌	MP	G#2
25	America The Beautiful	美しきアメリカ	MP	A2
26	Yankee Doodle	アルプス一万尺	MP	A#2
27	Hail To The Chief	ヘイル・トゥー・ザ・チーフ	MP	B2
● アメリカのクラシック音楽（AMERICAN CLASSICS）				
28	Danny Boy	ダニーボーイ	EB	C3
29	Down In The Valley	はるけき谷間（谷をくだりゆけば）	EB	C#3
30	Let Me Call You Sweetheart	恋人と呼ばせて（君呼ぶワルツ）	EB	D3
31	Home Sweet Home	埴生の宿	EB	D#3
32	My Bonnie Lies Over The Ocean	マイボーニー	EB	E3
33	In The Good Old Summertime	昔懐かし夏の頃	EB	F3
34	For He’s A Jolly Good Fellow	くろい小ぐま	EB	F#3
35	Bill Bailey Won’t You Please Come Home	ビル・ベイリー	EB	G3
36	Give My Regards To Broadway	ブロードウエイへの憧れ	SK	G#3
37	Clementine	雪山賛歌	MP	A3
38	Fascination	魅惑のワルツ	SK	A#3
39	Home On The Range	峠の我が家	MP	B3
40	Take Me Out To The Ballgame	野球につれてって	EB	C4
41	Auld Lang Syne	蛍の光	MP	C#4

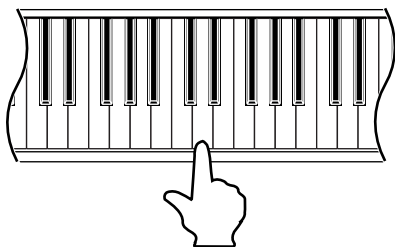
No.	Title	曲名	作曲者		
42	Michael Row The Boat Ashore	漕げよマイケル		MP	D4
43	Oh Susanna	おおスザンナ		SK	D#4
44	On Top Of Old Smokey	オン・トップ・オブ・オールド・スモーキー		EB	E4
45	Bicycle Built For Two	バイシクル・ビルト・フォー・トゥ		EB	F4
46	Camptown Races	草競馬		MP	F#4
47	The Band Played On	ザ・バンド・プレイド・オン		EB	G4
48	When Johnny Comes Marching Home	ジョニーが凱旋するとき		MP	G#4
49	When The Saints Go Marching In	聖者の行進		EB	A4
50	Beautiful Dreamer	夢路より		EB	A#4
● 讃美歌（FAVORITE HYMNS）					
51	Fairest Lord Jesus	フェアレスト・ロード・ジーザス		MP	B4
52	Amazing Grace	アメージンググレース		MP	C5
53	Doxology	ドクソロジー		MP	C#5
54	For The Beauty Of The Earth	この世の美しさゆえに		MP	D5
55	O Worship The King	おお神を賛美しよう		MP	D#5
56	The Old Rugged Cross	オールド・ラジッド・クローズ		MP	E5
57	"Holy, Holy, Holy "	聖なるわが主		MP	F5
58	What A Friend We Have In Jesus	いつくしみ深い		MP	F#5
59	Rock Of Ages	ちとせの岩		MP	G5
60	Trust And Obey	信じて従いましょう		MP	G#5
61	Sweet Hour Of Prayer	しずけき祈りの		MP	A5
62	Just As I Am	ありのままの姿で		MP	A#5
63	Jesus Loves The Little Children	ジーザス・ラブズ・ザ・リトル・チルドレン		MP	B5
64	How Great Thou Art	わが主よ、わが神		MP	C6
65	Great Is Thy Faithfulness	グレート・イズ・ザイ・フェイスフルネス		MP	C#6
66	A Mighty Fortress	ア・マイティー・フォートレス		MP	D6
● クラッシック音楽（CLASSICAL SELECTIONS）					
67	Andante (Haydn)	びっくりシンフォニー	ハイドン	MP	D#6
68	Fur Elise	エリーゼのために	ベートーベン	EB	E6
69	An Die Freude (Ode To Joy)	喜びの歌	ベートーベン	MP	F6
70	Clair De Lune	月の光	ドビュッシー	SK	F#6
71	Skater’s Waltz	スケーターズ・ワルツ	ワルトトイフェル	SK	G6
72	Peter And The Wolf	ピーターと狼	プロコイエフ	SK	G#6
73	Menuet In G (Bach)	メヌエット　ト長調	バッハ	SK	A6
74	Romeo And Juliet	ロミオとジュリエット	チャイコフスキー	SK	A#6
75	Blue Danube Waltz	美しく青きドナウ	シュトラウス	SK	B6
76	Sleeping Beauty Waltz	眠りの森の美女	チャイコフスキー	EB	C7
77	Gavotte (Gossec)	ガボット	ゴセック	SK	C#7
78	Waltz Of The Flowers	花のワルツ	チャイコフスキー	SK	D7
79	Toreador Song (“Carmen”)	闘牛士の歌	ビゼー	SK	D#7
80	Fledermaus	こうもり	シュトラウス	EB	E7
● 式典の曲（SPECIAL OCCASIONS）					
81	Bridal Chorus	婚礼の合唱		MP	F7
82	Wedding March	結婚行進曲		SK	F#7
● 世界の民謡（INTERNATIONAL SONGS）					
83	When Irish Eyes Are Smiling	アイルランドの瞳ほほえむ時		EB	G7
84	Hatikvah	イスラエル国歌		MP	G#7
85	My Wild Irish Rose	野花		EB	A7
86	Hava Nagilah	ハバナギラ		EB	A#7
87	Ich Bin Ein Musikant	山の音楽家		SK	B7
88	Chiapenacas	チアバネカス		SK	C8

◆ コンサートマジックの演奏

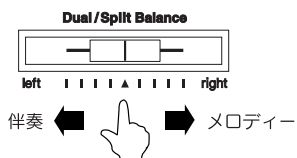
◇ 操作 1

CONCERT MAGIC ボタンを押しながら曲が割り当てられている鍵盤を押します。

88曲のコンサートマジック曲は、鍵盤に割り当てられており、この鍵盤を使って曲を選択することができます。（P.17/18 表参照）
ディスプレイには、曲ナンバーが表示されます。

◇ 操作 2

鍵盤を弾きます。

鍵盤を弾くタイミングで演奏が進んでいきます。
鍵盤を弾くタッチによって強弱をつけることもできます。

通常の音色変更の場合と同様の操作で、音色を変更することができます。

コンサートマジックの曲は、メロディーと伴奏の２パートからできており、
Dual/Split Balance レバーで２パートの音量バランスを調整することができます。

◇ 操作 3

再度、CONCERT MAGIC ボタンを押すと通常の演奏状態に戻ります。

◆ イージービート / メロディープレイ / スキルフル

コンサートマジック曲は、難易度別に3種類（イージービート/メロディープレイ/スキルフル）に分けられます。

◆ イージービート

イージービートの曲は、一定のテンポで鍵盤を弾くことによって、うまく演奏することができます。
小さなお子様でも簡単に演奏を楽しむことができます。
（P.17/18　曲リスト右側に「EB」と記載されています。）

◆ メロディープレイ

コンサートマジックの曲は、「メロディー」と「伴奏」より構成されています。
メロディープレイでは、メロディーのタイミングに合わせて鍵盤を弾くことによって、うまく演奏することができます。従って、メロディーをある程度知っていないとうまく演奏できません。
（P.17/18　曲リスト右側に「MP」と記載されています。）

◆ スキルフル

スキルフルでは、「メロディー」と「伴奏」両方のタイミングに合わせて鍵盤を弾かなければ、うまく演奏することができません。3つの中で最も難易度の高い曲です。
（P.17/18　曲リスト右側に「SK」と記載されています。）

◆ ノーマルモード / マジカルタクトモード

マジカルタクトモードでは、曲の難易度にかかわらず一定の間隔で鍵盤を弾くことによって演奏を進めることができます。

◇ 操作 1

CONCERT MAGIC ボタンを押しつづけると現在のモードが表示されます。

◇ 操作 2

CONCERT MAGIC ボタンを押したまま VALUE ボタンでモードを変更します。

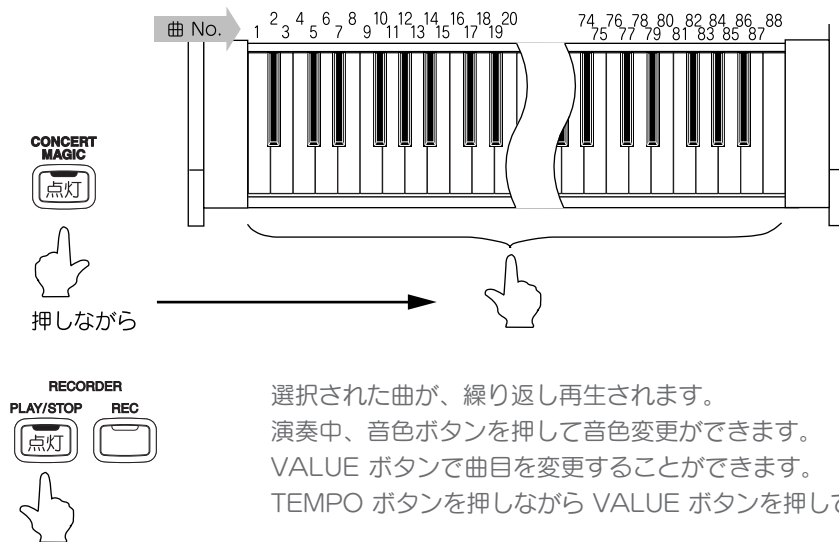
◆コンサートマジック曲の再生

コンサートマジック曲は、普通のデモ曲として再生することができます。
どんな曲かまず聴いてみたいときに便利な機能です。

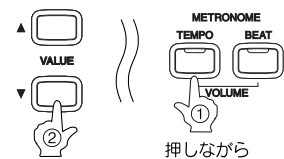
◇ 操作 1

CONCERT MAGIC ボタンを押しながら鍵盤を押して選曲した後、PLAY/STOP ボタンを押します。

選択された曲が、繰り返し再生されます。
演奏中、音色ボタンを押して音色変更ができます。
VALUE ボタンで曲目を変更することができます。
TEMPO ボタンを押しながら VALUE ボタンを押してテンポを調節できます。

VALUE
METRONOME
TEMPO　BEAT
VOLUME
① ②
押しながら

◇操作 2

演奏を止めるには、もう一度 PLAY/STOP ボタンか
CONCERT MAGIC ボタンを押します。

CONCERT MAGIC ボタンを押した場合、通常の演奏状態に戻ります。

◆ その他の再生方法　（チェイン再生 / グループ再生 / ランダム再生）

※チェイン再生

CONCERT MAGIC ボタンを押した後、鍵盤で曲選択をせずに PLAY/STOP ボタンを押します。

1 曲目から 88 曲目まで順番に繰り返し再生します。

※グループ再生

DEMO ボタンを押しながら鍵盤を押します。

この場合、選択した曲が含まれるグループの曲を順番に繰り返し再生します。
例えば、No.20 の「きよしこの夜」を選ぶと、この曲から演奏が開始され、No.14 ～ No.22 のグループ「クリスマスの曲」を繰り返し再生します。

※ランダム再生

CONCERT MAGIC ボタンを押した後、DEMO ボタンを押します。

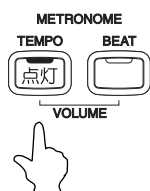
全内蔵曲を対象に、順不同に曲の再生をし続けます。但し、1 曲目は「きらきら星」です。

9）メトロノーム

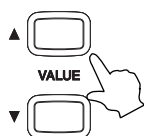
メトロノームを使って練習をしましょう。

◆メトロノームの発音とテンポ設定。

◇*操作 1*

TEMPO ボタンを押します。

TEMPO ボタンが点灯し、メトロノームが発音します。
LED にそのテンポの値が表示されます。

◇*操作 2*

VALUE ボタンを押してテンポの早さを設定できます。

LED にテンポが表示されている間、テンポの値を ♩ =30 ～ 300 の範囲で設定できます。（6/8 拍子のときは、 ♪ =60 ～ 600）

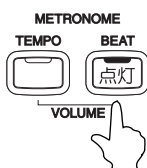
◇*操作 3*

再度 TEMPO ボタンを押すとストップします。

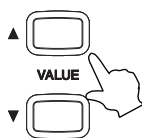
TEMPO ボタンのランプは、消灯します。

◆メトロノームの拍子設定。

◇*操作 1*

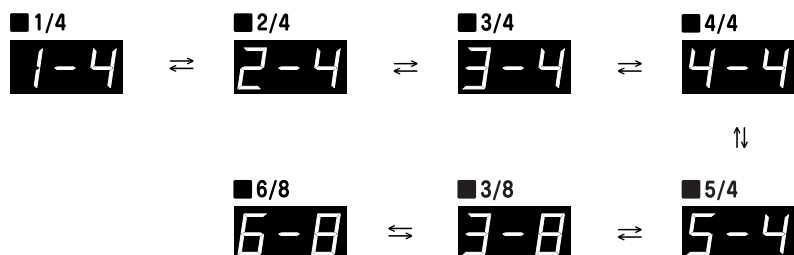
BEAT ボタンを押します。

BEAT ボタン が点灯し､LEDにその拍子が表示されメトロノームが発音します。

◇操作 2

VALUE ボタンを押して拍子を選択します。

1/4, 2/4, 3/4, 4/4, 5/4, 3/8, 6/8 拍子より選択することができます。

■1/4 1-4 ⇄ ■2/4 2-4 ⇄ ■3/4 3-4 ⇄ ■4/4 4-4

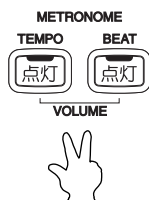
⇅

■6/8 6-8 ⇆ ■3/8 3-8 ⇄ ■5/4 5-4

◇操作 3

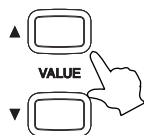
再度 BEAT ボタンを押すと、LED は消灯しメトロノームが止まります。

◆メトロノームの音量設定。

◇操作 1

TEMPO ボタンと BEAT ボタンを同時に押します。

METRONOME（TEMPO+BEAT）ボタンが点灯し、
メトロノームが発音します。
LED にその音量の値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンを押して音量を設定します。

1 ～ 10 の範囲で設定できます。

◇操作 3

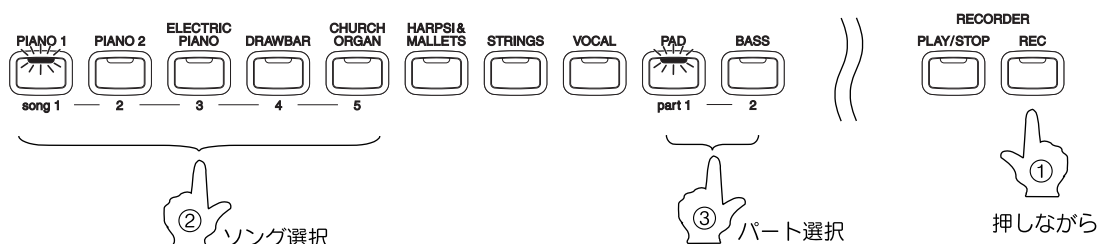
再度 TEMPO ボタンと BEAT ボタンを同時に押すとランプが消え、メトロノームが止まります。

3.録音・再生

1）録音

本機では、自分の演奏を5曲まで録音・再生することができます。
それぞれの曲（ソング）は、2つのパートから構成されており、1曲に2回の演奏を録音することができ、再生時には重ね合わせて再生できます。
録音は、録音する曲（ソング）の番号とそのパートを選択して行います。
SONG ボタンと PART ボタンは、音色ボタンに対応しています。

◇操作 1

REC ボタンを押しながらソングとパートを選択します。

REC ボタンを押している間、SONG ボタンとその PART ボタンが各1コずつ点滅しています。
この点滅しているボタンが録音の行われるソングとパートです。

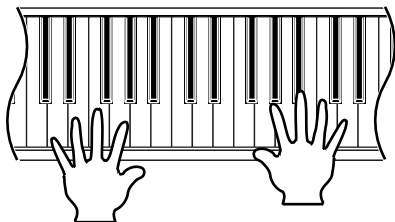
（この時、SONG ボタンと PART ボタンを押して録音するソングとパートを変更できます。）

パートの選択をしないと自動的にパート1が選択されます。
この時、REC ボタンを押しながら PART2 ボタンを押してランプを点滅させパート2へ録音することもできます。

REC ボタンを離すと点滅していた SONG ボタンと PART1 ボタンのランプが消灯し、REC ボタンのランプが点滅します。（録音待機状態）
また同時に音色のランプ（設定する以前に選択していた音色）が点灯します。
ここで録音を行う音色を設定できます。

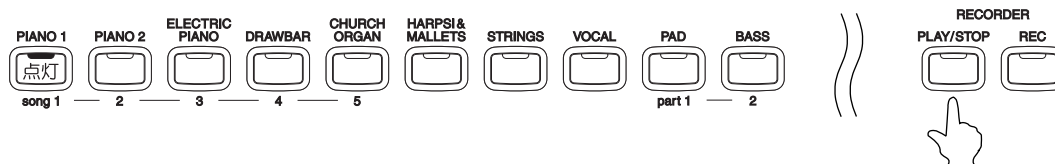
◇*操作 2*

鍵盤を弾いて録音をスタートします。

(PLAY/STOP ボタンを押しても録音を開始できます。)

鍵盤を弾くと自動的に録音がスタートします。
このとき、 PLAY/STOP ボタンと REC ボタンのランプが点灯します。

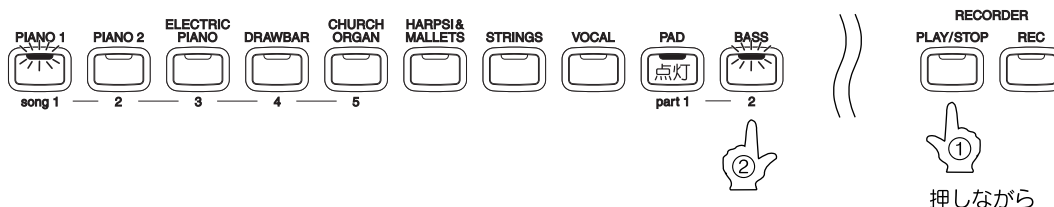
録音中の音色変更も記憶されます。

◇*操作 3*

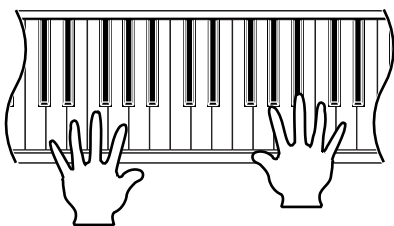
演奏が終わったら PLAY/STOP ボタンを押して録音を終了します。

REC ボタンと PLAY/STOP ボタンのランプが消え録音が停止します。

◆ひき続き、パート 1 に録音した演奏を聴きながら、パート 2 の録音をしてみましょう。

◇*操作 1*

REC ボタンを押しながら PART2 ボタンを押します。

指定された SONG1 ボタンと PART2 ボタンのランプが点滅し、録音待機状態であることを示します。
また、PART1 ボタンのランプが点灯していますが、パート1 の録音内容が再生待機状態であることを示しています。

◇操作 2

鍵盤を弾きパート 2 への録音を開始します。

鍵盤を弾くと自動的にパート2 の録音が開始され、同時にパート1 が再生されます。
このとき REC ボタンと PLAY/STOP ボタンのランプが点灯します。

鍵盤を弾かずに PLAY/STOP ボタンを押して録音をスタートさせることもできます。

◇ 操作 3

PLAY/STOP ボタンを押し録音を終了します。

REC ボタンと PLAY/STOP ボタンのランプが消え、パート 2 の録音とパート 1 の再生がストップします。

■ *レコーダーの総記憶容量は、約 15,000 音です。録音中に記憶容量が一杯になったときは、録音が中止されます。中止される直前までの演奏は録音されます。*

■ *レコーダーに記憶した内容は、本体の電源を切っても消えません。*

■ *パート 1 に既に録音されているソングのパート 2 に録音するとき、パート 1 の演奏を再生しないでパート 2 に録音したいときは、REC ボタンを押す前に PLAY/STOP ボタンを押しながらパート1ボタンを押してパート 1 のランプを消灯します。*

■ *録音中のパネル操作に関して ...*

・音色変更は記憶します。

・デュアルモードの移行は記憶します。

・エフェクト設定の変更は記憶せず、現在音色にアサインされているものがそのまま使われます。

・テンポ変更は記憶しません。

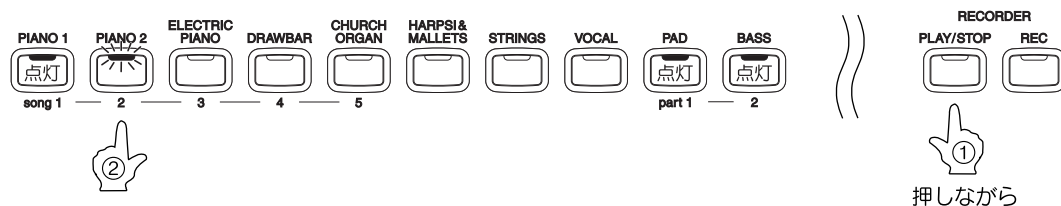
・デュアルバランスの変更は記憶されません。録音直前のバランスで記憶されます。

・タッチカーブ、トランスポーズボタンの ON/OFF 変更は、記憶されません。
再生時はトランスポーズがどこに設定してあっても、録音したときと同じ音程で再生されます。

2）再生

録音した曲を再生します。

◇操作

PLAY/STOP ボタンを押しながら再生する SONG ボタンを押し点滅させます。

PLAY/STOP ボタンを押している間再生されるソングボタンが点滅し、そのパートボタンが点灯します。
また、点灯している SONG ボタンが録音されているソングです。
PLAY/STOP ボタンから手を離すと再生が開始します。

ソング2を再生する場合は、PLAY/STOP ボタンを押しながら SONG2 ボタンを押してランプを点滅させます。（上図） PLAY/STOP ボタンから指を離したらソング２の再生が開始されます。

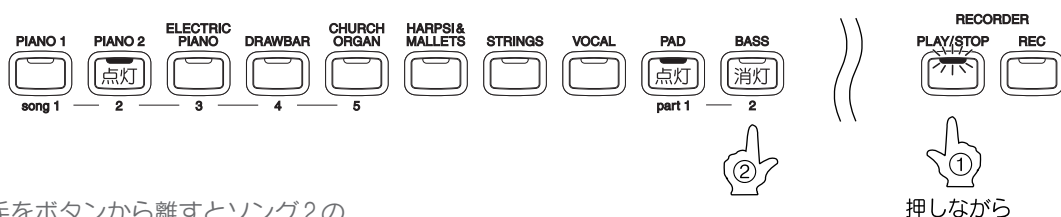
■ *再生中には、演奏情報は、MIDI データとして送信します。（P.37 参照）*
パート１は 1ch、パート２は 2ch で送信します。
デュアルを録音したときは、パート１は 9ch,パート２は 10ch の情報を加えて送信します。

録音・再生

◆再生パートの選択

上の操作で PLAY/STOP ボタンを押した状態の時、パートのランプが点灯していると再生され、消灯していると再生されません。パート２を再生しないようにするには、下記のような操作になります。

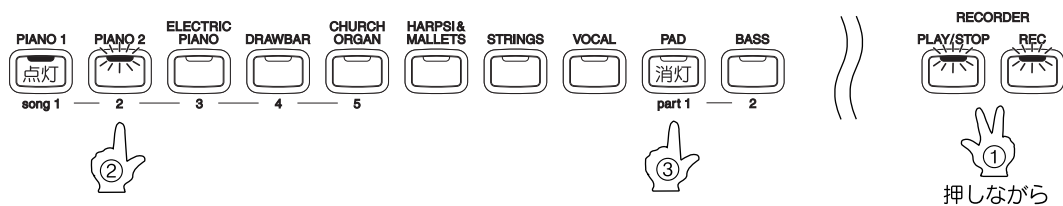
◇操作

PLAY/STOP ボタンを押しながら PART2 ボタンを押し消灯させる。

両手をボタンから離すとソング２の
パート１のみ再生されます。

3）曲の消去

ここでは、録音に失敗したり、いらなくなった曲をパート毎に消去します。

◇操作

PLAY/STOP ボタンと REC ボタンを同時に押しながら消去する SONG ボタンと PART ボタンを選択します。

PLAY/STOP ボタンと REC ボタンを同時に押すと、現在選択されているソングのランプが点滅し、録音されているパートのランプが点灯します。
SONG ボタンを押してソングを選んだ後、消去する PART ボタンを押してランプを消灯させたら、そのソングのパートのデータが消去されます。

上図は、ソング 2 のパート 1 を消去します。

■ ソングを選んだだけでは曲は消去されません。

■ 複数のソングやパートを消去するときは、繰り返し操作を行ってください。

■ 録音されているすべてのソングを消去したい場合は、PLAY/STOP ボタンと REC ボタンを押したまま、電源を入れてください。

4.設定モード

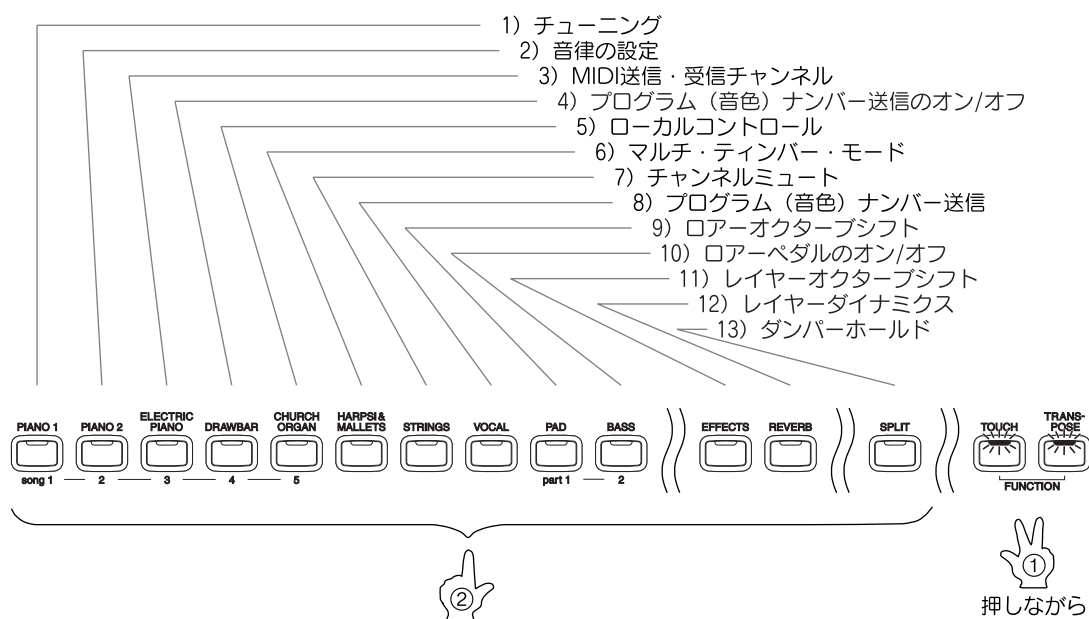
本機には、いろいろなピアノの演奏を楽しむために、いろいろな状態を設定することができます。
この設定を行う機能を " 設定モード " といい、この設定モードでは以下のメニューの設定を行うことができます。

◇設定モードのメニュー

1) チューニング
2) 音律の設定
3) MIDI 送信・受信チャンネル
4) プログラム（音色）ナンバー送信のオン / オフ
5) ローカルコントロール
6) マルチ・ティンバー・モード
7) チャンネルミュート
8) プログラム（音色）ナンバー送信
9) ロアーオクターブシフト
10) ロアーペダルのオン / オフ
11) レイヤーオクターブシフト
12) レイヤーダイナミクス
13) ダンパーホールド

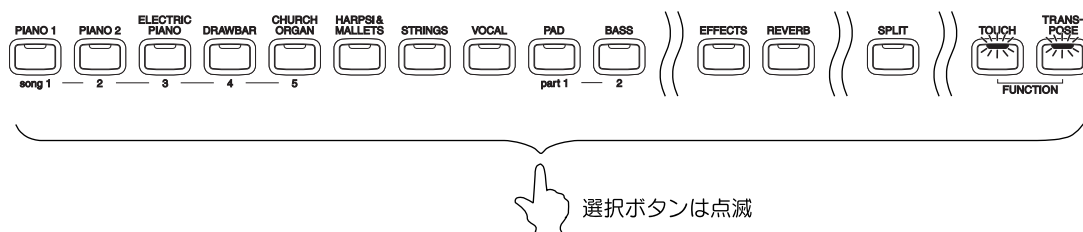
◆ 設定モードへの入りかた

◇操作

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら各メニューが割り当てられた音色ボタンを押します。

押された 3 つのボタンが点滅します。

◆ 設定モードの終り方

◇操作

TOUCH ボタンまたは TRANSPOSE ボタンを押すか、音色ボタンを押して音色を選択します。

ランプの点滅が消え " 設定モード " から出ます。

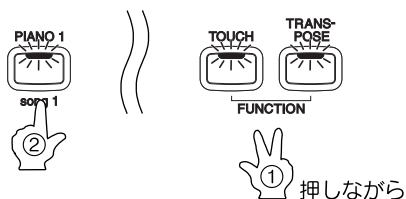
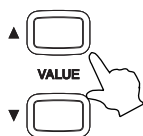
1) チューニング

チューニングは、他の楽器とピッチ（音程）を合わせるときに行います。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、PIANO1 ボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

本機では、『A』の音を基準にして設定をします。
427.0 〜 453.0 (Hz) の範囲を 0.5Hz の単位で設定ができます。
表示は、百の位が省略されて十の位以下が示されています。

■チューニング

■ *この状態で鍵盤を弾くと、" 設定モード " に入る前に選ばれていた音色が鳴ります。チューニングは、この音色を使って行います。音色を変えたい場合は一度 " 設定モード " から出て音色を選びなおしてから、再度 " 操作 1 " 、" 操作 2 " の操作を行います。*

■ *電源を入れた時は、「440.0（Hz）」に設定されます。*

2）音律の設定

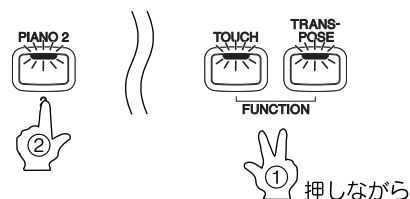
ピアノの調律法として、最も一般的な平均律だけでなく、ルネッサンス、バロック等の時代に用いられた古典音律を内蔵しています。
本機に内蔵されている音律の設定は、以下の通りです。

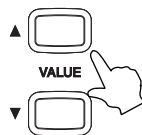
◆ **平均律（ピアノ）**	ピアノの音色が選択されている場合は、ピアノの調律曲線に従います。それ以外の音色が選択されていれば、平均律（フラット）に従います。
◆ **純正律<長調>**	3度と5度のうなりをなくした調律法で、合唱音楽では、現在でも随所にこの音律に基づいた演奏が行われています。
◆ **純正律<短調>**	純正律は、長調と短調で異なります。長調と同様の効果を短調でも得られます。
◆ **ピタゴラス音律**	5度のうなりをなくした調律法で、和音よりもメロディーを演奏すると非常に美しいのが特長です。
◆ **中全音律**	3度のうなりをなくした調律法で純正律の特長の5度が著しく不協和であることを改良したもので、平均律よりも和音が美しく響きます。
◆ **ヴェルクマイスター第 III 法** ◆ **キルンベルガー第 III 法**	調合の少ない調は、和音の美しい中全音律に近く、調合が増えるに従って、緊張感が高く、メロディーが美しいピタゴラス音律に近づけていくもので、古典音楽の作曲家の意図した " 調性の性格 " を反映することのできる調律法です。
◆ **平均律（フラット）**	ピアノの調律曲線を使わない平坦な平均律です。どのように移調しても和音の響きが変らないという特長があります。
◆ **平均律（ストレッチ）**	ピアノの調律曲線を使った平均律です。ピアノの調律法として、最もポピュラーなものです。

次より設定方法を説明していきます。

◇操作 1

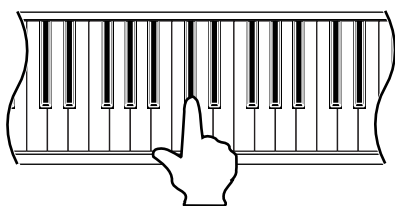
FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、PIANO2 ボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている音律が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで音律を設定します。

■音律

電源オン時は、平均律(ピアノ)に設定されています。
この場合、ピアノ音色を選択した時は自動的に平均律ストレッチ（ピアノの調律曲線を使った平均律）になり、ピアノ以外の音色の時には自動的に平均律フラットになります。

◇操作 3

鍵盤を押して、音律の調（キー）を設定します。

C# の鍵盤を押す。

設定は 88 鍵全部でできます。
鍵盤を押したら、LED に調が表示されます。

■ *平均律を選択した場合は、調の設定をしても変化はありません。*

◆ MIDI 機能の使い方

ここで、MIDI について説明をしておきます。

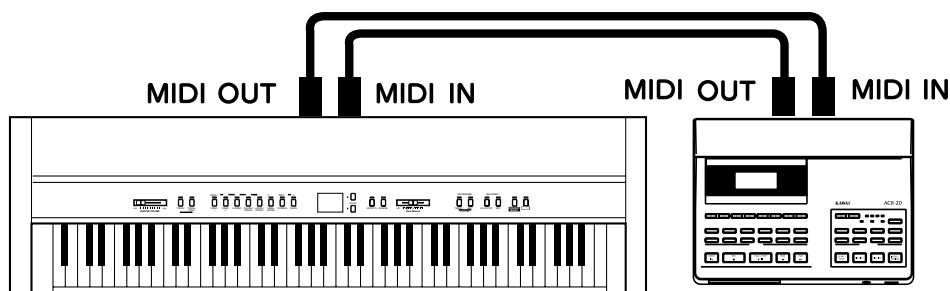
◆ MIDI について

MIDI について簡単に説明します。
MIDI（ミディ）とは、Musical Instrument Digital Interfaceの略称で、シンセサイザーや シーケンサーなどの電子楽器間を接続しお互いの情報をやりとりするするための世界統一規格です。

MIDI 端子には、IN，OUT，THRU の３つの種類があります。いずれも MIDI 専用ケーブルで接続します。

IN	**：**	**鍵盤情報や音色情報を受信します。**
OUT	**：**	**鍵盤情報や音色情報を送信します。**
THRU	**：**	**受信した情報をそのまま他の楽器に転送します。**

MIDI には、チャンネルというものがあります。チャンネルには、受信チャンネルと送信チャンネルの
２種類があり、通常の場合、MIDI 機能をもった楽器はこの両者を備えています。
受信チャンネルとは、ある楽器が他の楽器から情報を受信する場合のチャンネルで、送信チャンネルとは、
ある楽器が他の楽器へ情報を送信する場合のチャンネルです。

◇外部機器を使っての録音 / 再生

図の様にシーケンサー等に接続すれば、電子ピアノの演奏をシーケンサーに録音し、それを再生することができ、電子ピアノの練習に役立てることができます。また、電子ピアノの設定をマルチティンバーオン（P.41 参照）にして録音 / 再生を行えば、ピアノ、ハープシコード、ビブラフォンなど複数の音色によるアンサンブル演奏を楽しむことができます。

◆本機 MIDI 機能

本機の MIDI 機能は、以下の通りです。

◆ 鍵盤情報の送信・受信
電子ピアノを弾いてシンセサイザー等から音を出したり、その逆が可能です。

◆ 送信・受信チャンネルの設定
送信受信チャンネルを 1 〜 16 の範囲で設定することができます。

◆ プログラム（音色）ナンバーの送信
電子ピアノとMIDIで接続したシンセサイザー等の音色（プログラムされた音色）を電子ピアノ側の操作で変えたり、その逆が可能です。

◆ ペダル情報の送信・受信
ダンパーペダル、ソフトペダルのオン / オフ情報の送信・受信ができます。また、ソステヌートペダルの場合は、オン / オフの送信ができます。

◆ ボリューム情報の受信
シンセサイザー等を弾いて、電子ピアノの音を出しているとき、シンセサイザーで電子ピアノの音量をコントロールすることができます。

◆ マルチティンバーの設定
電子ピアノが受信楽器になっているとき、複数の異なるチャンネルで鍵盤情報を受信して、各々別の音を出すことが出来ます。

◆ エクスクルーシブデータの送信・受信
フロントパネルの操作や設定モードで変更した設定をエクスクルーシブデータとして送信受信ができます。

◆ レコーダーの再生情報の送信
レコーダーに録音した演奏を、MIDI で接続した電子楽器で鳴らしたり、外部シーケンサーに録音することができます。

本機のMIDI 機能についての詳細は、" MIDIインプリメンテーションチャート "（巻末）をご覧ください。

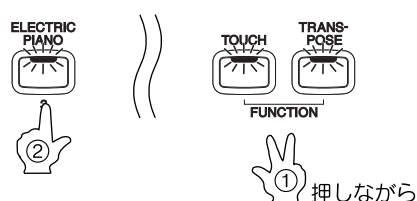
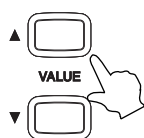
3）MIDI 送信・受信チャンネル

接続されたMIDI楽器といろいろな情報をやりとりするために楽器同士のチャンネルを合わせておくことが必要です。
チャンネルは、送信チャンネルと受信チャンネルの 2 種類がありますが、本機ではそれぞれ別々のチャンネルに設定することはできません。1 つのチャンネルを設定してそれが送信・受信両チャンネルを兼ねています。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、ELECTRIC PIANO ボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

1 ～ 16 の間で値を設定できます。

■ *本機は電源オン時には、1 ～ 16 のすべてのチャンネルの情報を受信できる状態になっています。
これをオムニオンと呼びます。チャンネル設定を行うとオムニオフとなり、設定したチャンネルのみで受信するようになります。オムニオフで 1ch に設定したい場合は、一度チャンネルを 2 に設定してから 1 に戻してください。*

4）プログラム(音色)ナンバー送信のオン / オフ

◆ 音色セレクトボタンによるプログラムナンバーの送信 / パネル操作の送信

本機では、通常の演奏中に10個の音色セレクト ボタン を切り替えることにより、下表のような1～40までのプログラムナンバーを送信できるようになっています。（マルチティンバーモードに設定したときは、下表の様なプログラムナンバーを送信します。）

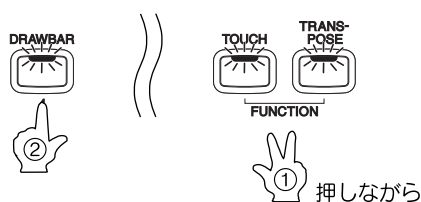
◆音色に対応する送受信プログラムナンバー

音　色	マルチティンバーオフ、オン1の時	マルチティンバーオン2の時		
	プログラムナンバー	プログラムナンバー	バンク	
			MSB	LSB
PIANO1（ピアノ1）				
コンサートグランド	1	1	121	0
スタジオグランド	2	1	121	1
メローグランド	3	1	121	2
ジャズグランド	4	1	95	8
PIANO2（ピアノ2）				
ブライトピアノ	5	2	121	0
ホンキートンク	6	4	121	0
ニューエイジピアノ	7	1	95	9
ニューエイジピアノ2	8	1	95	10
ELECTRIC PIANO（エレクトリックピアノ）				
エレクトリックピアノ1	9	5	121	0
エレクトリックピアノ2	10	6	121	0
60’sエレクトリックピアノ	11	5	121	3
エレクトリックピアノ3	12	6	121	1
DRAWBAR（ドローバー）				
ジャズオルガン1	13	18	121	0
ジャズオルガン2	14	17	121	0
ジャズオルガン3	15	17	121	1
ジャズオルガン4	16	17	95	2
CHURCH ORGAN（チャーチオルガン）				
チャーチオルガン1	17	20	121	0
チャーチオルガン2	18	20	95	7
チャーチオルガン3	19	21	95	1
チャーチオルガン4	20	20	95	6
HARPSI & MALLETS（ハープシ＆マレッツ）				
ハープシコード	21	7	121	0
ハープシコード2	22	7	121	3
ビブラフォン	23	12	121	0
クラビ	24	8	121	0
STRINGS（ストリングス）				
スローストリングス	25	45	95	1
シンセストリングス	26	49	95	8
ウォームストリング	27	49	95	1
ストリングアンサンブル	28	49	121	0
VOCAL（ボーカル）				
クワイア	29	53	121	0
ポップオー	30	54	95	39
ポップアー	31	54	95	40
シンセボーカル	32	55	121	0
PAD（パッド）				
ファンタジー1	33	89	121	0
ファンタジー2	34	100	121	0
ファンタジッククワイア	35	92	121	1
ファンタジー3	36	101	95	1
BASS（ベース）				
ウッドベース	37	33	121	0
エレクトリックベース	38	34	121	0
フレットレスベース	39	36	121	0
ウッドベース＆ライド	40	33	95	1

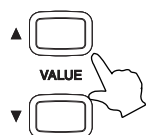
また音色セレクトボタン以外にも、タッチカーブ、デュアル、デジタルエフェクト、リバーブのボタン操作をMIDI エクスクルーシブデータとして送信することができます。

この音色セレクトボタンによるプログラムナンバーの送信やパネル操作の送信は、次の方法により送信するか、しないか（オン / オフ）を設定することができます。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、DRAW BAR ボタン を押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

電源オン時は、音色セレクトボタン によるプログラムナンバーの送信は、自動的にオンにセットされます。

デュアルモード時には、デュアルモードのオン/オフ情報、音色の設定などをエクスクルーシブで送信しますが、プログラムナンバーは送信しません。（マルチティンバー ON のときは、送信します。）

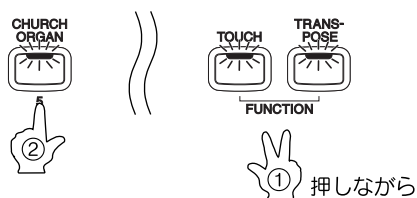
5）ローカルコントロール

本体の鍵盤を弾いて音を出すか、出さないかを設定します。
ローカルコントロールがオンの時は、通常通り鍵盤を弾けば本体の音が鳴ります。
一方、ローカルコントロールがオフの時は、鍵盤を弾いても音は鳴らず MIDI 情報を MIDI OUT し、外部からの MIDI 情報を受信したときのみ音が鳴ります。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、CHURCH ORGAN ボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

■「OFF」に設定した場合、鍵盤を押しても音はでません。

■ 電源オン時、ローカルコントロールは、「ON」に設定されています。

6）マルチ・ティンバー・モード

通常は、前述の方法で設定されたMIDIチャンネル（1～16のどれか1つ）で情報を送信受信しますが、マルチ・ティンバー・モードをオンすることにより、複数のMIDIチャンネルを受信して各々のチャンネルに対応した異なる音色を同時に出すことができます。

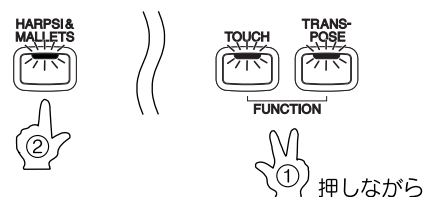
この機能により、外部にシーケンサーなどをつなげて、本機1台で複数の音色（マルチ・ティンバー）によるアンサンブル演奏が可能です。

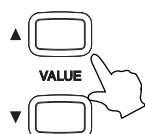
本機では、マルチ・ティンバー・モード をONに設定すれば、各チャンネル毎にプログラムチェンジ情報を受信することによってP.38の表に従った音色変更をします。

また、チャンネルミュートの設定をすることができます。（P.42参照）

◇操作1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン+TRANSPOSE ボタン）を押しながら、HARPSI & MALLETS ボタン を押します。

押したボタンが点滅し、LEDに現在設定されている値が表示されます。

◇操作2

VALUE ボタンで値を設定します。

マルチ・ティンバー・モード がオフのときに、MIDI情報を受信すると、そのとき選ばれていた音色セレクトボタンの音色が鳴ります。

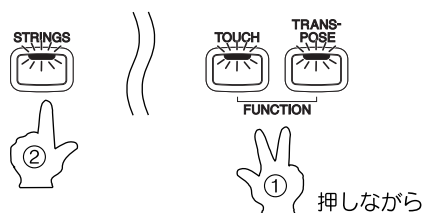
マルチ・ティンバー・モード がオンに設定されると、受信したプログラム・チェンジ・ナンバーに対応する音色が発音します。
また、受信チャンネルごとに発音のオン/オフを設定することができます。（P.42参照）

■ 電源オン時、マルチ・ティンバー・モードは「OFF」に設定されます。

7）チャンネルミュート

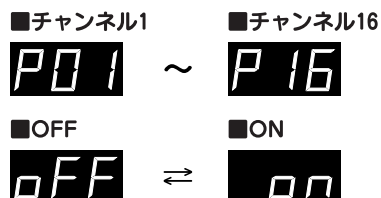
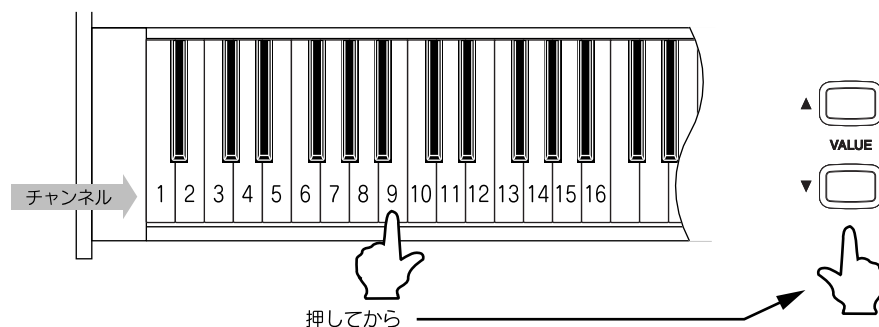
各チャンネルの発音のオン / オフが設定できます。
マルチティンバーモード　オンの時のみチャンネルミュートの設定ができます。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、STRINGS ボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

■ *マルチティンバーモードが「OFF」のときは、このモードには入れません。*

◇操作 2

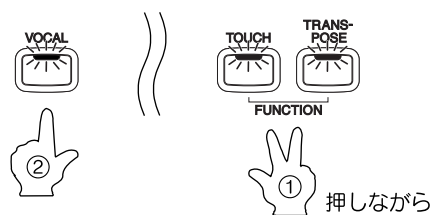
左端から 16 個の白鍵でチャンネルを押してから、VALUE ボタンで ON/OFF を設定します。

■ *この状態では、鍵盤を押しても音はでません。*

■ *電源を入れて最初にマルチティンバーオンにすると、1 ～ 16ch 全て「ON」に設定されています。*

8）プログラム(音色)ナンバー送信

本機では、1 ～ 128 までのプログラムナンバーを送信することができます。

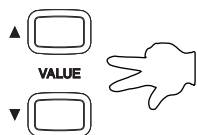
◇操作 1

**FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、
VOCAL ボタンを押します。**

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンでプログラムナンバーを設定します。

◇操作 3

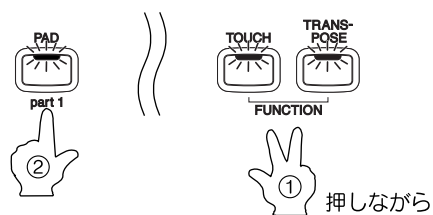
**2 つの VALUE ボタンを同時に押すとプログラムナンバーの送信が
実行されます。**

9）ロアーオクターブシフト

ロアー オクターブ シフトとは、スプリット演奏時に低音側鍵盤の音域をオクターブ単位で移動することです。

◇操作 1

**FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、
PAD ボタンを押します。**

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

■ 電源オン時は、「0」に設定されています。

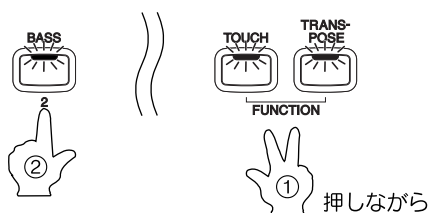
10）ロアー ペダルのオン / オフ

スプリット演奏時にペダルを使用した際、低音側鍵盤の音にペダル機能のオン / オフを設定できます。
高音側鍵盤のペダル機能は常にオンとなります。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、
BASS ボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

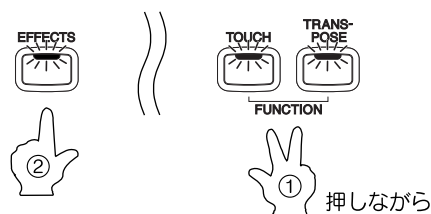
■ 電源オン時は、「OFF」に設定されています。

11）レイヤーオクターブシフト

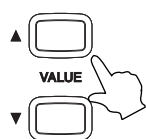
レイヤーオクターブシフトとはデュアル（P.8参照）モードで2つの音色を重ねて弾く際に、片側の音色（レイヤー音色：音色ボタンをあとから押した方の音色）の音域をオクターブ単位で移動することです。

例えば、コンサートグランドピアノとストリングアンサンブルをデュアルで重ねて演奏する時に、ストリングアンサンブルの音色だけをオクターブ上げて（あるいは下げて）演奏することができます。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、EFFECTS ボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

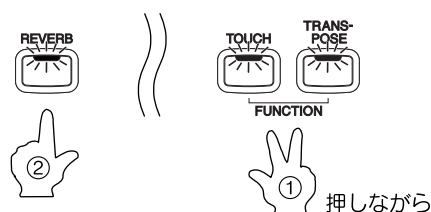
VALUE ボタンで値を設定します。

■ 電源オン時は、「0」に設定されています。

12）レイヤー ダイナミクス

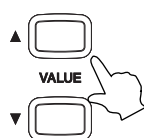
レイヤーダイナミクスとはデュアル（P.8参照）モードで2つの音色を重ねて弾く際に、片側の音色（レイヤー音色：音色ボタンをあとから押した方の音色）のタッチ変化の仕方を調整することです。

例えば、コンサートグランドピアノとストリングアンサンブルをデュアルで重ねて演奏する時に、通常の設定では、どちらの音色も同じように強弱が変化しますが、ストリングアンサンブルのタッチ変化の度合いを少なくすることにより、ダイナミックなピアノ音色をより強調した演奏をすることができます。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン +TRANSPOSE ボタン）を押しながら、REVERB ボタンを押します。

押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

「10」で通常のタッチ変化になり、「1」で最もタッチ変化が小さくなります。

■ 電源オン時は、「10」に設定されています。

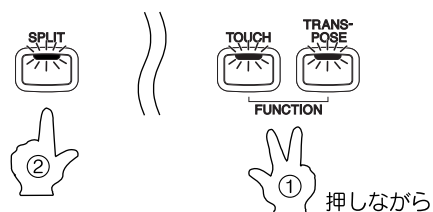
13）ダンパーホールド

ダンパーホールドとは、ストリングアンサンブルのような持続音色（鍵盤を押している間鳴り続ける音色）に対して、ダンパーペダルを踏んで鍵盤を弾いた時に、鍵盤から手を離した後も音を持続させる機能です。

◇操作 1

FUNCTION ボタン（TOUCH ボタン+TRANSPOSE ボタン）を押しながら、SPLIT ボタンを押します。

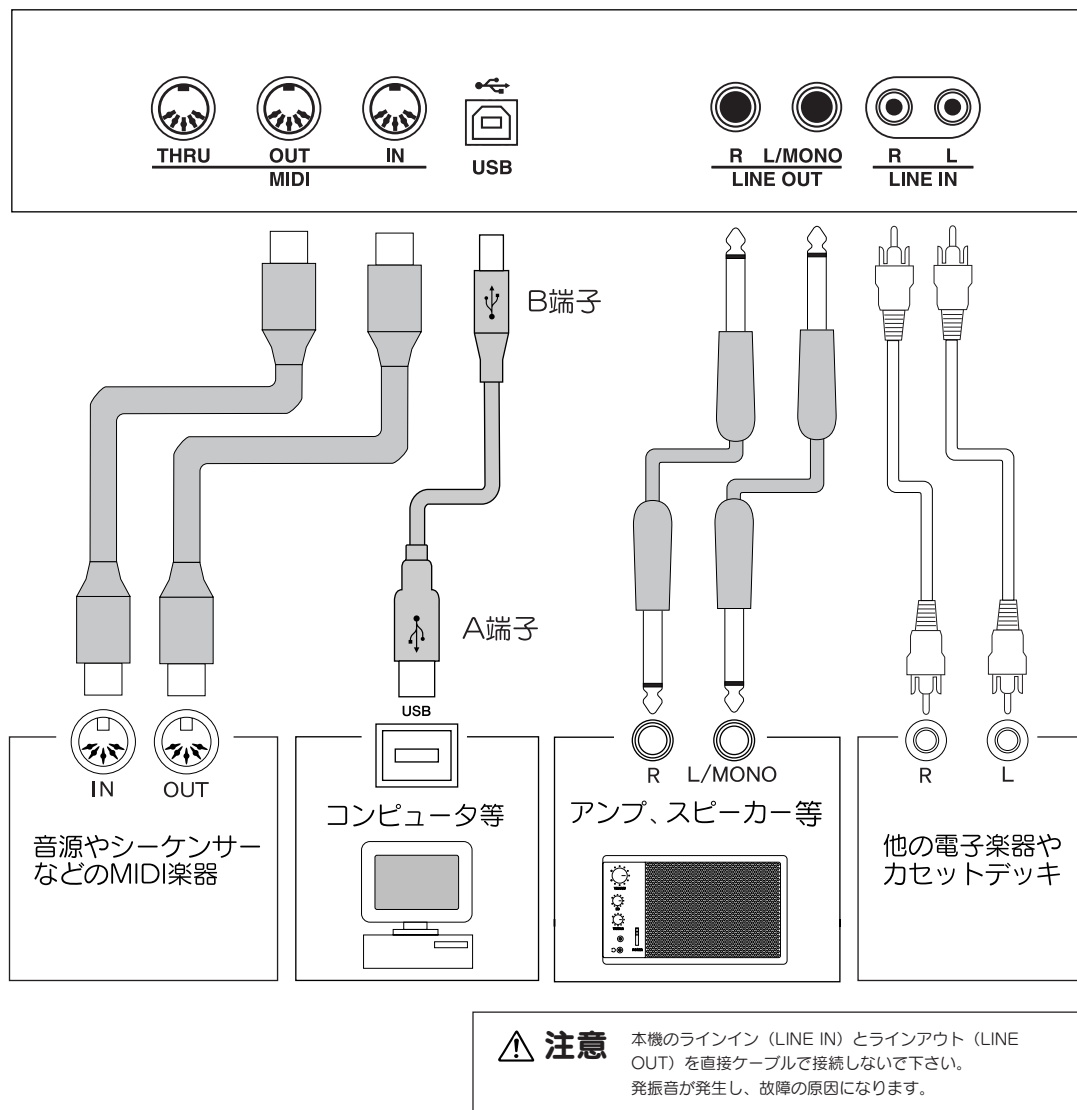
押したボタンが点滅し、LED に現在設定されている値が表示されます。

◇操作 2

VALUE ボタンで値を設定します。

■ 電源オン時は、「OFF」に設定されています。

5.付録

◆他の機器との接続

⚠ **注意** 本機のラインイン（LINE IN）とラインアウト（LINE OUT）を直接ケーブルで接続しないで下さい。
発振音が発生し、故障の原因になります。

①LINE OUT（ライン出力端子）<標準ジャック>
本機の音を他の外部機器（アンプ、ステレオ）などで聴いたり、テープデッキに録音する場合に使用する出力端子です。出力レベルは、本体のボリュームで調節できます。Rは右側、L / MONOは左側の出力を示しています。なお、モノラル信号は、L/MONOにのみプラグを接続したときに出力されます。

②LINE IN（ライン入力端子）<ピンジャック>
他の電子楽器やカセットデッキなどの出力端子とこの端子を接続すると、本機の内蔵スピーカーからそれぞれの機器の音を出力できます。この場合、本体のボリュームでは音量を調節できませんのでそれぞれの機器側で調節してください。Rは右側、Lは左側の入力を示しています。

③MIDI（ミディ）
MIDI規格に対応している楽器と接続する端子です。

④USB端子

市販のUSBケーブルでコンピュータと接続して、MIDIデータをやりとりすることができます。
・USB端子にはA端子とB端子があり、コンピュータ側はA端子、デジタルピアノ側はB端子でそれぞれ接続します。

USBドライバーについて

コンピュータとデジタルピアノをUSB接続してデータをやりとりするためには、デジタルピアノを正しく動作させるためのソフトウェア（USBドライバー）がコンピュータに組み込まれている必要があります。お使いのコンピュータのOSによって使用するUSBドライバーが異なりますので、下記の説明をよく読んでお使いください。

Windows XP/Me をお使いの方
Windows に搭載されている標準 USB ドライバーを使用しますので、新たに USB ドライバーをインストールする必要はありません。
Windows 2000/98SE をお使いの方
指定の専用 USB ドライバーをコンピュータに追加する必要があります。下記のカワイホームページより専用 USB ドライバーをダウンロードしコンピュータにインストールしてください。

http://www.kawai.co.jp/download_demo/driver/

Macintosh をお使いの方
Mac 用の USB ドライバーはありません。市販の USB 対応 MIDI インターフェースを介して、CA5 と MIDI 接続してください。

USBに関するご注意

・MIDI と USB が同時に接続された場合、USB が優先されます。
・デジタルピアノとコンピュータを USB ケーブルで接続する場合は、まず USB ケーブルを接続してからデジタルピアノの電源を入れてください。
・デジタルピアノとコンピュータを USB 接続した場合、通信を開始するまでしばらく時間がかかることがあります。
・デジタルピアノとコンピュータをハブ経由で接続し動作が不安定な場合は、コンピュータのUSBポートに直接接続してください。
・下記の動作中、デジタルピアノの電源オン/オフ、USBケーブルの抜き差しを行うと、コンピュータやデジタルピアノの動作が不安定になる場合があります。
** ドライバーのインストール中*
** コンピュータの起動中*
** MIDI アプリケーションが動作中*
** コンピュータと通信中*
** 省電力モードで待機中*
※お使いのコンピュータの設定によっては、USB が正常に動作しない場合があります。ご使用になるコンピュータの取扱説明書をよくお読みの上、適切な設定を行ってください。

⚠ 注意　組立作業は、必ず２人で行ってください。
本機を移動する時は、水平に持ち上げるようにし、
手を挟んだり、足の上に落とさないよう、十分注意
してください。

■組立てる前に、部品がそろっていることを確認してください。
また、プラスドライバーをご用意ください。

本体	1
側板(A)	左右各1
裏板(B)	1
ペダル土台(C)	1
スピーカーカバー(D)	1
ネジ(E)(M6×25)	4
ネジ(F)(M4×12)	4
ネジ(G)(φ4×20)	6
ネジ(H)(M4×16)	4
アジャスター(I)	1
ワッシャー(J)	4
ヘッドホンフックセット	1

■組み立て手順
1．アジャスター(I)をペダルユニット底中央にねじ込みます。

2．ペダル土台(C)の底、ペダルケーブルを解いて引き出しておいてください。

3．側板(A)とペダル土台(C)を、背面を下にして置きます。
側板(A)のネジ(a)と(b)に、ペダル土台(C)端の金具を、図のようにずらして引っ掛けます。（左右）

4．ネジ(a),(b)を締め、次に中央にネジ(G)を取り付けます。（左右）

5．側板(A)とペダル土台(C)の組立品を起こします。

6．裏板(B)をペダル土台(C)の後ろ面と側板(A)の取付金具前に
配置します。

7．側板(A)と裏板 をネジ(F)４個にて取り付けます。

8．ペダル土台(C)と裏板(B)をネジ(G)４個にて取り付けます。

9．本体をスタンドに静かに載せます。
真上から見て、本体の後ろに金具の穴が見えるくらい本体の前側に
載せます。
スタンドを固定して、本体が傾いて落ちないように一方の手で前部を
支えながら本体を後ろにスライドさせると、本体のフックが側板(A)の
金具に引っかかります。この時、本体の後ろを支持している手を、
側板と本体の間で挟まないように注意してください。

10．本体とスタンドをネジ(E)４個で取り付けます。

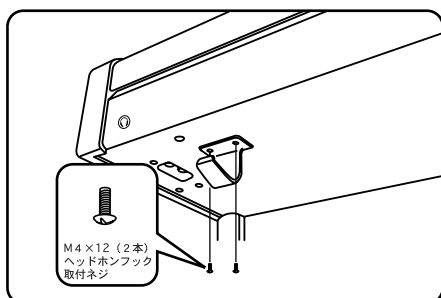
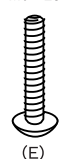
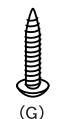
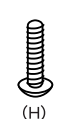
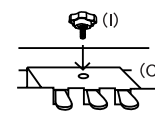
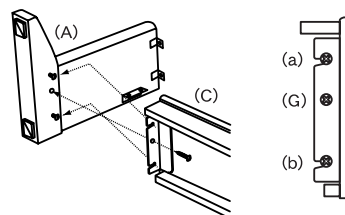
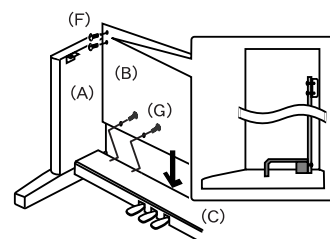
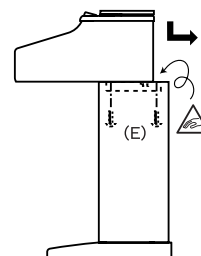
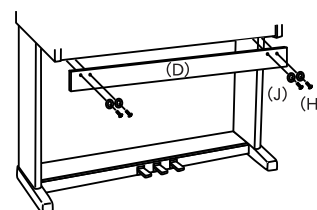
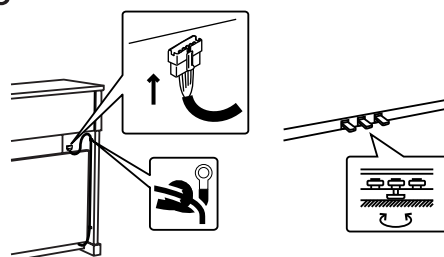
⚠ 注意　必ず、本体とスタンドをネジで固定してください。
固定しないと、本体がスタンドから落ち、大変危険です。

11．スピーカーカバー(D)を、図のようにネジ(H)４個で取り付けます。
この時、ワッシャー(J)4個をネジに通して止めます。

12．ペダル土台から出ている、ペダル接続コードを、端子の突起部を
手前にして本体のペダル端子に差込み、コードが適当な位置に
なるような場所にバインド金具で巻き付けて固定してください。

13．ペダル土台の裏にはめたアジャスターを、床にピッタリ付くまで
回してペダル土台を補強します。

⚠ 注意　アジャスターボルトをしっかり床に付けないとペダル土台が
壊れる恐れがあります。
また、移動の際は、引きずらないで必ず床から持ち上げて
移動してください。

■ヘッドホンフック（ヘッドホン掛け）の取付について

○ヘッドホンフックと同封されている短いネジ２本（M４×12）で、
本体左側のネジ穴に取り付けます。
※ヘッドホンフックが不要な方は取り付ける必要はありませんので、
取扱説明書等と一緒に保管してください。

◆ 主な仕様

■ 鍵　盤	88鍵 / AWAグランドプロ木製鍵盤（AWA：アコースティック・ウェイテッド・アクション）
■ 発音数	最大96（音色により異なる）
■ 音　色（10グループ 40音色）	ピアノ1/2、エレクトリックピアノ、ドローバー、チャーチオルガン、ハープシ＆マレッツ、ストリングス、ボーカル、パッド、ベース
■ 効　果	リバーブ（ルーム1/2、ステージ、ホール1/2）、コーラス、ディレイ1/2/3、トレモロ、ロータリー1/2
■ 音　律	平均律（3）、純正律（2）、ピタゴラス音律、中全音律、ヴェルクマイスター第Ⅲ法、キルンベルガー第Ⅲ法
■ その他の機能	コンサートマジック（88曲）ボリューム、デュアル、スプリット、デュアル/スプリットバランス、トランスポーズ、チューン、レイヤーダイナミックス、ロアーオクターブシフト、レイヤーオクターブシフト、タッチカーブ（7）、MIDI
■ レコーダー	2トラック×5ソング、総記録容量　約15,000音
■ メトロノーム	1/4、2/4、3/4、4/4、5/4、3/8、6/8拍子
■ ペダル	ダンパー、ソステヌート、ソフト
■ 外部端子	ヘッドホン（2）、LINE IN（L、R）、LINE OUT（L/MONO、R）、MIDI（IN、OUT、THRU）、コンピューター接続端子<USB>
■ 出　力	45W×2
■ スピーカ	13cm×2、5cm×2
■ キーカバー	スライド式
■ 定格電圧	AC100V、50/60Hz
■ 消費電力	60W
■ 仕上げ	黒塗艶出し塗装
■ 寸　法	［W×D×H］138.8×50.5×89.5（cm）譜面台含まず
■ 重　量	75Kg
■ 付属品	専用椅子 / 電源コード / ヘッドホン / ヘッドホンフック / 取扱説明書（本書） / 保証書

Date : April , '04
Version : 1. 0

◆KAWAI［Model　CA5E］MIDI IMPLEMENTATION CHART

ファンクション		送　信	受　信	備　考
ベーシック チャンネル	電源ON時 設定可能	1 1 ～ 16	1 1 ～ 16	
モード	電源ON時 メッセージ 代用	モード3 × ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	モード3 モード1, 3 *	* 電源ON時オムニ・オン。MIDIチャンネル設定操作によりオムニ・オフ。
ノート ナンバー	音域	21 ～ 108 ** ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	0 ～ 127 0 ～ 127	** 9 ～ 120　トランスポーズを含む。
ベロシティ	ノート．オン ノート．オフ	○ 9nH　v=1-127 × 9nH　v=0	○ ×	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	× ×	× ×	
ピッチ．ベンド		×	×	
コントロール チェンジ	0, 32 7 11 64 66 67	○ × × ○（右ペダル） ○（中ペダル） ○（左ペダル）	○ ○ ○ ○ ○ ○	バンクセレクト ボリューム エクスプレッションペダル ダンパーペダル ソステヌートペダル ソフトペダル
プログラムチェンジ 設定可能範囲		○（0 ～ 127） ＊＊＊＊＊＊＊＊＊	○ ***	*** プログラムチェンジ対応表参照
システムエクスクルーシブ		○	○	オン/オフ 選択可能
コモン	ソングポジション ソングセレクト チューン	× × ×	× × ×	
システム リアルタイム	クロック コマンド	× ×	× ×	
その他	ローカルON／OFF オールノートオフ アクティブセンス リセット	× × ○ ×	○ ○（123 ～ 127） ○ ×	
備　考				

モード1：オムニオン、ポリ　　モード2：オムニオン、モノ
モード3：オムニオフ、ポリ　　モード4：オムニオフ、モノ

○: 有り
×: 無し

付録